

## 小山市

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワーク等の ICT 環境を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、主体的・対話的で深い学びがより達成できるよう授業改善に取り組むことで、児童生徒自身が学習形態や学習方法を選択し、自分自身の特性や理解度、進度に合わせ学ぶような、児童生徒が中心となった学びの姿を目指す。

#### 2. GIGA 第1期の総括

令和2年度において1人1台端末の整備を完了し、さらに、ICT を快適に使用できるよう、通信ネットワーク環境の強化を図るなど、整備を進めてきた。1人1台端末は、授業の学習道具として、さらには連絡帳代わりの情報ツールとして使用するなど、多くの学校で日常的な活用が進んでいる。また、端末を家庭に持ち帰り、ドリル学習や作品づくりなどの課題に活用する学校も増えてきた。

課題としては、学校や学年によって、活用に異なる状況が見られること、活用が増えるにつれて、ネットワークの負荷が大きくなってきていることが挙げられる。このため、教員への研修対応に加え、十分な ICT 環境の整備を検討する必要がある。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

途切れなく端末を利活用できるよう、共同調達により計画的に端末を整備・更新し、ICT 環境を維持した上で、以下の点に取り組む。

(端末の積極的活用)

- ・端末の日常的な利活用に係る ICT 研修の充実を図り、「1人1台端末を週3回以上活用」する学校の割合を令和7年度末までに100%にする。

(個別最適・協働的な学びの充実)

- ・リーディング DX スクール事業を始めとした端末活用事例の横展開及び活用開始に係る支援を実施するとともに、「児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている」学校の割合を令和8年度末までに80%にする。

(学びの保障)

- ・端末の持ち帰りを継続して推奨するとともに、不登校児童生徒の支援や心の健康観察アプリの活用促進等、端末を活用した学びの保障に係る対応を検討する。